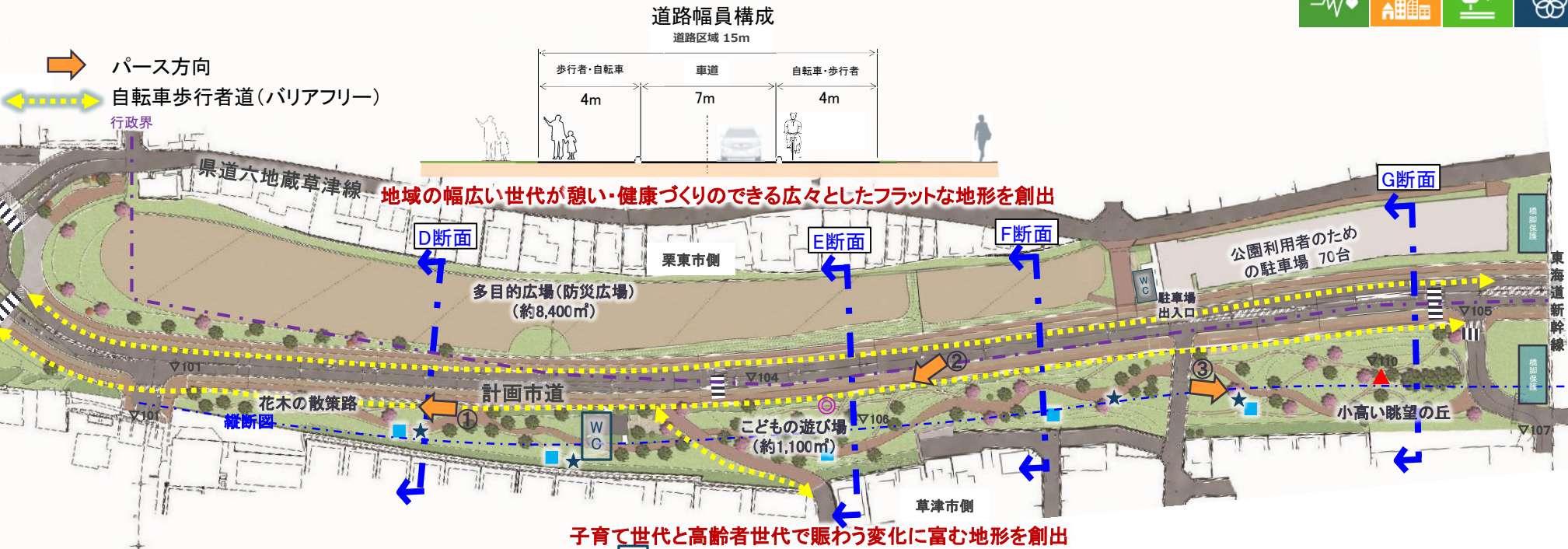


草津川跡地整備事業(区間6) (計画概要)

ゆとりある空間の憩いゾーン～日常的に多世代が集いコミュニティを育む憩いの空間～

「時代に合わせて変化できる憩い・遊び・健康の空間をつくる」

3	すべての人に 健康と福祉を	11	住み続けられる まちづくりを	15	緑の豊かさを 守ろう	17	パートナーシップで 目標を達成しよう
---	------------------	----	-------------------	----	---------------	----	-----------------------



(主な施設) 多目的広場、小広場★、高木中木、低木地被、トイレ(約80㎡) W C、日かげ・休よう施設(あづまや)(約10㎡/1箇所) 、眺望スペース▲、遊び場(遊具) ○
 (その他施設) 案内板、園名板などの案内施設、ベンチ、水飲み場、時計台などの便益施設、照明、標識、防犯などの安全施設、フェンス、柵などの管理施設、その他付帯インフラ施設

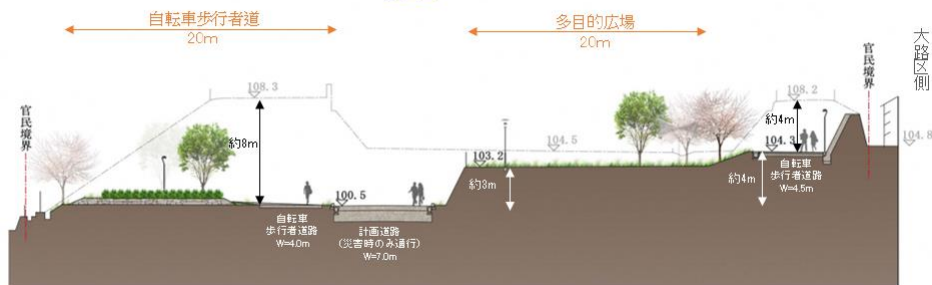


国道1号より西側

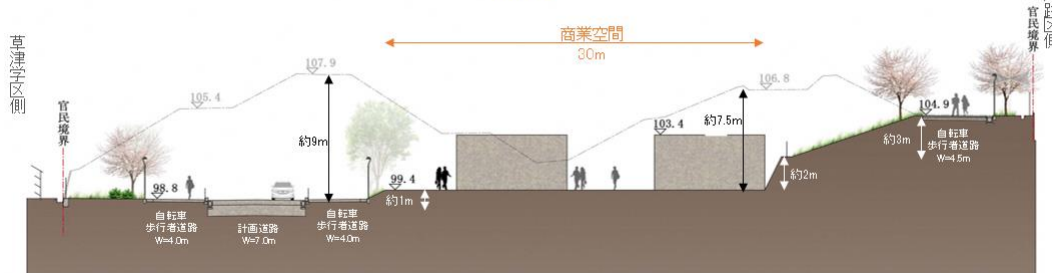
↑国道1号↓

国道1号より東側

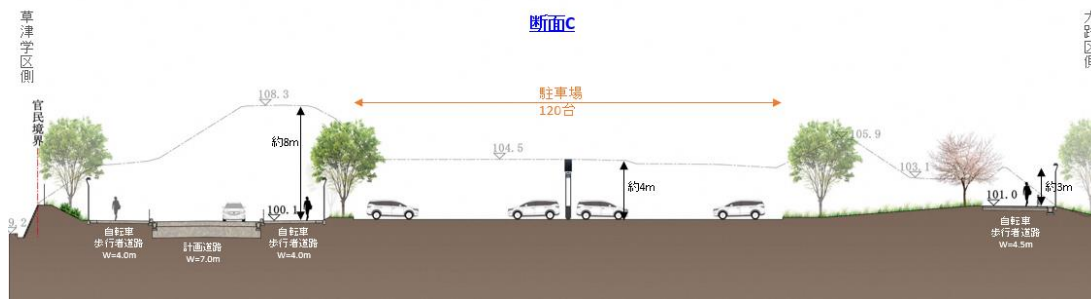
断面A



断面B



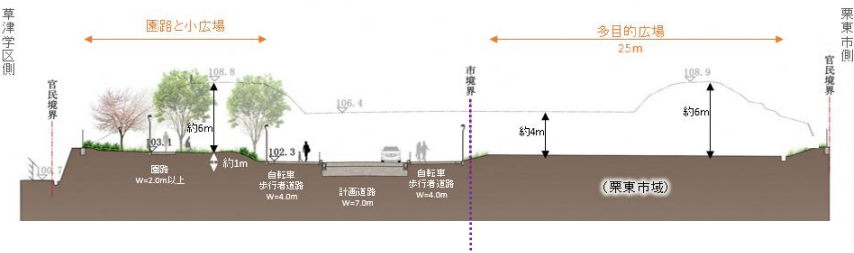
断面C



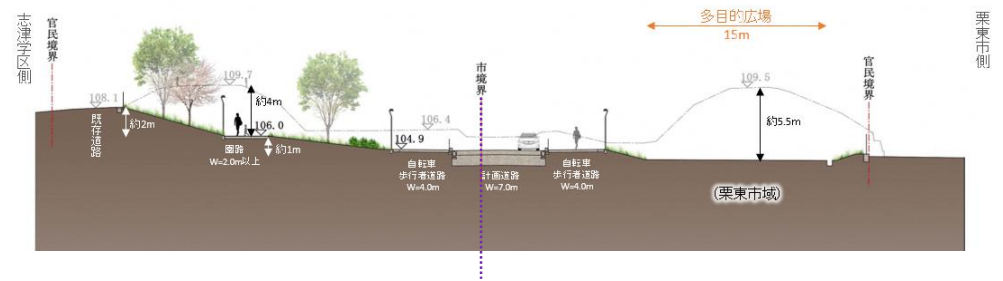
断面図(D~G)

RAより東側

断面D



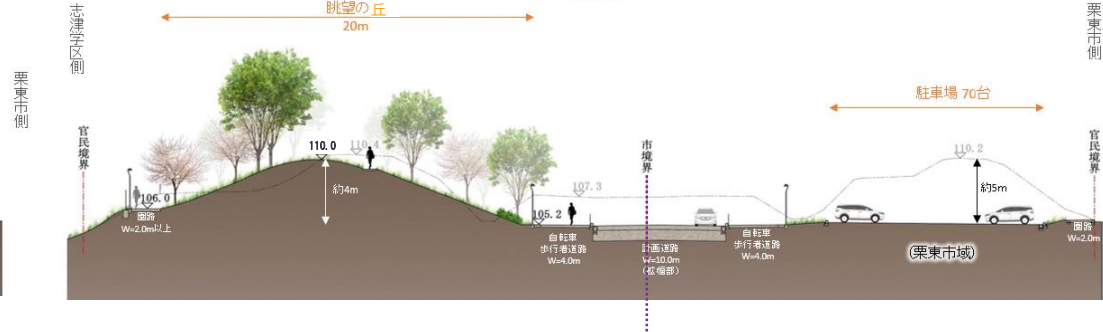
断面E



断面F



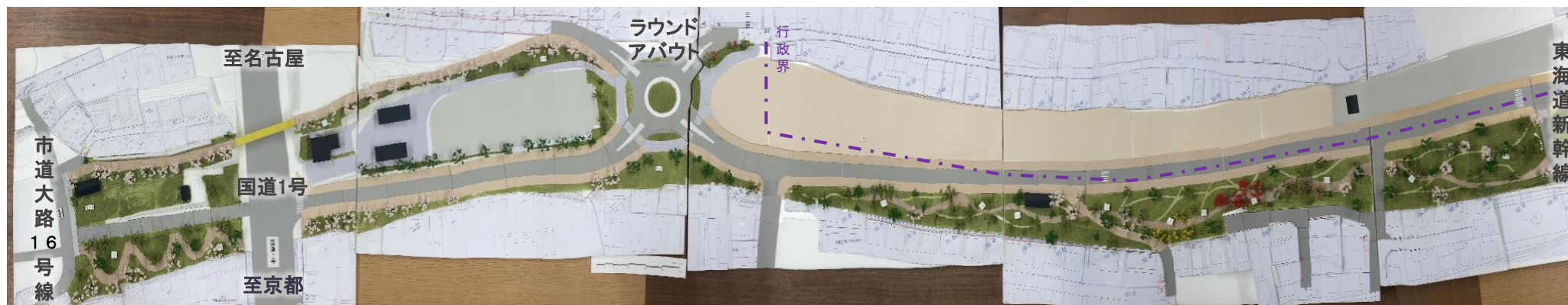
断面G



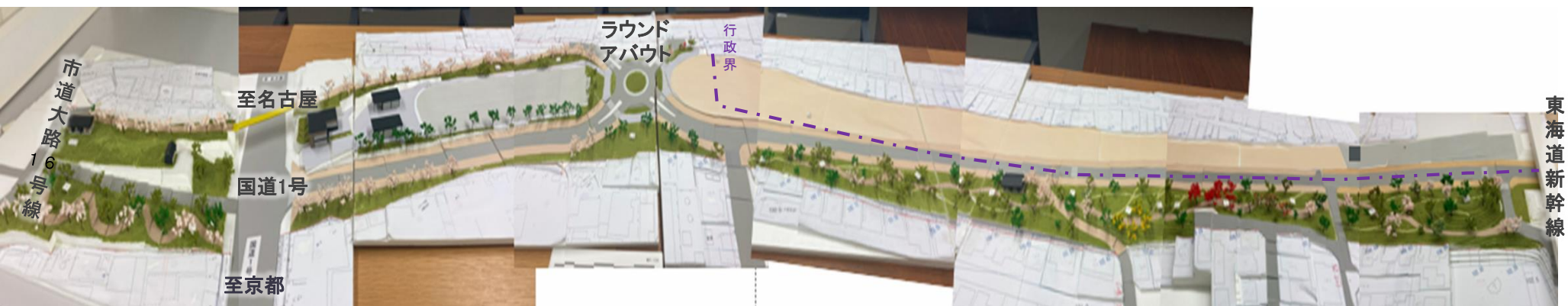
(参考) 模型

(参考として、地元等への説明会で使用し、今回更新したもの)

【上部から撮影】



【斜めから撮影】

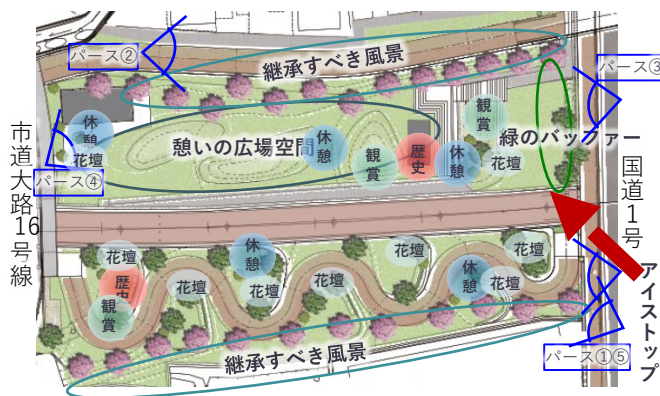


模型には、主な施設を配置しており、樹木については、成長後のイメージで作成しております。

デザインコンセプト

- 旧草津川の歴史的な風景、東海道の歴史性を継承する桜並木
- 草津川跡地公園のエントランスに美しい広場へと誘引する地形（空間）
- 幅広い世代に親しまれる憩いの広場の創出

空間構成



↑バス②：地域の歴史を継承する桜並木の風景



↑バス③：草津川跡地公園に誘引する魅力的なエントランス



↑バス④：桜と緑に囲まれた、起伏豊かな芝の広場



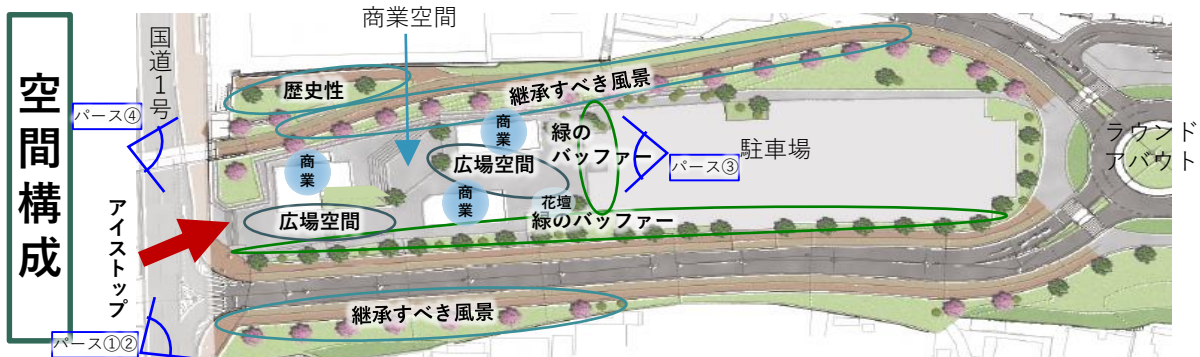
↑バス①：de愛ひろばとの連続性を確保した花木に囲まれた広場とみちのデザイン



↑バス⑤：自然な草花の広がる風景を見ながら上る緩やかな坂道

デザインコンセプト

- 旧草津川の歴史的な風景、東海道の歴史性を継承する桜並木
- 国道エントランスから広場の奥へと誘引する変化のある空間
- 囲まれ感による特別なにぎわいを創出する商業と人の空間
- 広場を居心地良くする道路と広場との緑の緩衝帯



↑ パース①：環境の器に包まれた魅力的な商業空間デザインと段階的な高低差処理



↑ パース②：国道側の賑わい



↑ パース③：来るときに表情が変わる広場づくり



↑ パース④：歴史を継承する桜並木と商業空間との対比の風景

〈ゆとりある空間の憩いゾーン 小広場・遊び場・眺望の丘エリア〉

デザインコンセプト

【下流域-小広場】

- 流線形の園路と四季の植栽で移り変わる風景を演出
- 園路と低木に囲まれた小広場を点在配置

【中流域-遊び場】

- 地形の起伏と植栽、幼児・小児用遊具を一体化

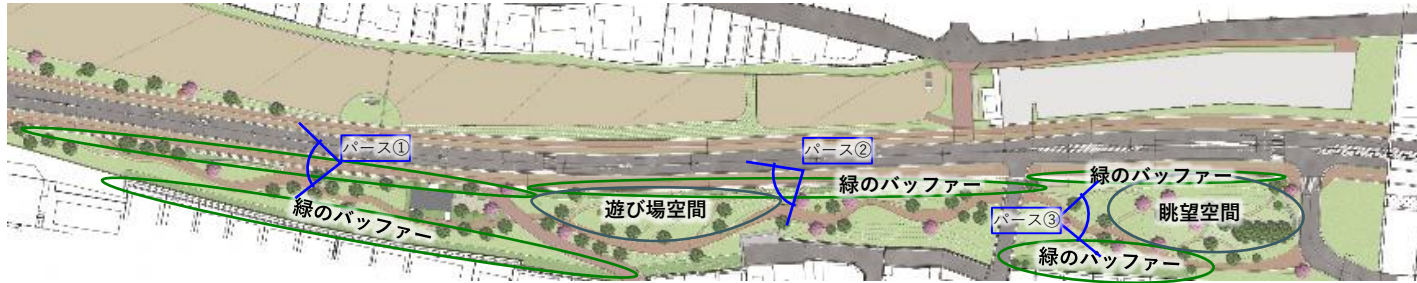
【上流域-眺望の丘】

- 旧草津川堤防と既存樹の残置による小高い丘の形成
- 旧草津川と新幹線との歴史性を対比させる眺望の提供
- 若者の居場所となる丘の上の休憩地の創出



パース③：新幹線を望める眺望の丘の形成。若者の居場所として機能

空間構成



パース①：植栽の中を通り抜け場所によって風景の変化する、歩いて楽しい園路の創出



パース②：地形と一体化した遊具の配置をトータルデザイン。インクルーシブ遊具も配置